

月星経営研修会【特別編】 令和4年10月15日(土) 於：ホテルグリーンタワー幕張

INDEX

令和4年度第1回経営研修会 …	1~4
【突撃インタビュー】 国会議員・白井正一さんに聞いてみた! …	5
秋の親睦旅行報告 …	5
夕食例会報告 …	6
スケジュール・編集後記 …	6



みんなが考え、みんなが語った! 「これからの月星会」

令和4年10月15日(土)、月星会は経営研修会の一環として「これからの月星会を考える」というテーマで、会員同士の率直な意見交換を行いました。講師がいるわけではありません。大先輩の会員や現役員が若手会員などにレクチャーするというわけでもありません。

一人ひとりがそれぞれの立場で「これからの月星会」がどういう方向で活動をしていくべきか、具体的にどういふ会活動をしていきたいかなどを考え、発言し、議論しようというシチュエーションです。

発言は順番に行われ、全員の発言が終わって多少の議論がありましたが、一つの結論にまとめたわけではありません。端的に言えば、この研修会をベースにして議論を重ね、会としての方向性を決めていこうという流れです。

そこで、「会報つきぼし」の編集チームは、当日の一人ひとりの発言をできるだけ忠実に再現するために、会報を2ページ増やし、4頁で会員皆さんにお伝えすることにいたしました(会報全体では6頁)。ただし、全面的に「忠実に再現」すると2ページの増頁では済まなくなるので、多少の編集カットはせざるを得ません。当日の発言者には、その点ご了承のほどをお願いいたします。

みんなで楽しめる会に

▼高柳さん

会則など昔のことはよくわかりません今現在、一番懸

念しているのが、先日のバスの事故じゃないですけども、危ない坂を急いで走ると事故になる、ということ。

昔、どこかで聞いた牛歩という言葉があったが、ゆっくり今まで進んできたと思う。これだけ改正されているっていうことは、良い方向

に向いている。ゆっくり進んでいるから、立ち止まることもできます。

ともかく、ゆっくりゆっくり前に進みつつ、良いところは伸ばす。問題があれば話し合っって変えつつ進んでいけばよいのでは、と思います。

▼佐々木さん

私は入ったばかりですが、会活動は楽しくないと続かない。まずはみんなで楽しめる会として、これから続けていくことが非常に大切だと思います。

入会させていただいてから、同世代の方、もしくは先輩方ですね。普段交流できない人たちと交流させていただいたこと、それが凄く刺激になっています。

たとえばバス旅行。普段なかなか経験できないことを経験させていただくことは月星会にいるメリットなのです。

普通仕事をしているとなかなかこういう機会がない。学生時代に戻ったクラブ活動の雰囲気、すごく楽しい。今後は少し仲間を増やしていきたいですね。

▼中島さん

いつも決まったメンバーしか例会に出てこない。それから、親睦旅行もやはり決まったメンバー。その来ていない人たち、そういう人たちにもう少し配慮した案を出したほうが……。そこにちょっとお金を費やすっていう感じ。

毎年36,000円を黙って払っているのもどうなのかなと思います。そこらへんが一つ課題では。もう一つプラスアルファって考えたときに、例会のほうに予算を増やして、面白みを持たせるっていうか、そういうアクション的なものも必要かな、と思っています。

良い点では、皆さん経営者の方たちで、たとえば何か専門性があれば、その方に相談できるとか、そういう安心感もある。そういう点では月星会という存在は、私にとってすごく大きな存在なのです。

行事の参加者が少なくなっているが…

▼林威樹さん

玉姫殿当時からご利用いただいております、会員としても、社主と2人入らせていただいております。

最近亡くなる方が会員の中でも結構多くいらっしゃる一方、入会者が少なく、高齢化が進んでいます。あとは、正一さんも参議院当選したので、臼井日出男先生をどういった位置づけにしていくか明確にしていたほうがよいのでは、と思います。

▼川名さん

今、事務局を拝命しております。会に入ったのは、新生月星会になって3、4年くらいだったかと。もう25年くらい会員になっておりますが、最近の月星会は確かに高齢化が進んでいます。

例会も出て行くのが億劫だとか、夜になると運転がダメとかが非常に増えてきました。この会は集まっている勉強させていただきましたが、楽しくやり、勉強になります。今は参加者が本当に少ない。総会ですら40人程度ですから。

夕食例会は20人がせいぜい。旅行も20人ちょっとしか来ない。ここが課題です。臼井先生が引退されてから、今後どういう形を取っていくかも検討課題です。

▼奥平さん

コロナが始まった頃の会長だった正一さんの挨拶が極めて哲学的でその通りだと思いました。それは、人と人との接触により、文化文明が発達し、今日の私たちの社会というものができている、と。

まさにその通りです。一人ぼっちで人は生きていくことはできない。月星会というのは、人と人との集まりの中で、いろいろ接触していく。言いたいことを喋る。言いたくないことも喋る。そういう中からそれぞれの人生の厚みを持って生きていける。それが月星会の存在意義かと思っています。

▼阿佐一郎さん

月星会に入ったのは学生を卒業する前。卒業して、働かせていただくようになって、正式に入会しました。

当然一番若くて、年配の方と話すことができたっていうのが、やはり入っていてよかった。だいぶというか、20年以上経って、自分は50超えてみると、会の中自体がずっと年齢層だけ上がって、下がなかなかできてきていない。

親子会員みたいな感じの方が多くて。そういう入り方もありなのかもしれませんが、本来はどうかなと。

誰かを誘うとき、一応経営者の会で、勉強会だよって誘いはする。が、臼井先生がついていると、後援会なんじゃないの、って言われ方したときもある。先生の国会議員引退でそれはなくなり、誘いやすくなったはずだが、なかなか「入る」と言ってくれる人はいない。活動にもうちょっと身になるものを作れたら良いのかなと。

意外と少ない政治を語れる会

▼小川さん

私にとって月星会は理想的な企業後援会の役割を果たしてくれています。自走でみんながやってくれて、勉強し合い、仲間同士で地域を良くしていこうという集まりが、最終的には選挙のときには手伝ってもらえる。本当に最高の組織なのです。

私が月星会に参加させていただいたのは、平成13年から14年です。おもしろかったのは、青年部があって、青年部の仲間と楽しく、アホな会長がアホだったんで、凄くおもしろかった。それが僕にとっては凄く良い会だなと。他の会、経済系の団体10会以上入っている。他の団体と月星の違いは、政治が語れるという点です。政治と経済を語れる会はあまりないのです。政治と宗教タブーです、応援しちゃいけないとかあるので。むしろそこを突き詰めていくのが月星なのかな、と。

もう少し毎回毎回、正一参議に来てもらうのも大変なので、役人や仲間の国会議員とかを呼んだりして、国の現状とかウクライナ情勢とか、そういうのを知れたらもっともっと面白いんじゃないかなと思っています。

▼岩田さん

例会委員会の副委員長をしています。一番大変なのは、動員。片野洋子さんと私と交代で、川名さんに手伝っていただいております。

前回、35名の方に電話した。電話に出てくれない。今度は、電話しても社長いませんよ、じゃあ電話くださいよ、と伝えてもかかってこない。本当に大変です、動員は。

そこらへんをね、声を大にして、もうちょっと良い方法ないかな、と思っています

20年位前かな。臼井日出男先生に、会報を派閥に配っていただけませんかとお願ひしたこともあります。話だけで終わっちゃったんですが、やっぱり会報配ることによって、後援会じゃないけれども、こういう団体が下にあるんだよ、っていうことを宣伝していただければ、非常におもしろかったのかな、っていう感想です。

正一さんも、その気があれば、ぜひ何十部か余分に刷って、渡していただければ面白いかなと思うのですが。

政治の話も経済の話もおおっぴらに

▼星野さん

まだ会に入って1年弱くらい。3年前まで私はサラリーマン。そこからは独立して経営者になって、初めてこういった会に入らせていただいたのが月星会なのです。

それまで横の繋がりとかがまったくなかったので、先輩の方々、経営者の方のお話を聞けて刺激を受ける。勉強させていただいているなと思っています。

例えば去年のバス旅行ですと、たまたまバスの隣の席が長田さんだったので、あれだけの経営者の方と、長時間仕事の話もくだらない話もさせていただける機会って、そうそうない。私にとっては貴重な時間をいただいている会だと思っています。藤原さんと阿佐さんの話を聞いて、こういう会だから、というのを今日改めて認識しました。

旅行だったり例会だったりも、基本予定なければ行くと。そんなスタンスで参加したいと思っています。

▼桐谷さん

会員歴は長くて、平成8年に金田さんと御園先生に「入らないか」って言われて入りました。えらい長い…。

私もこの会は、政治の話ができるから本当に良いな、と思っています。他のいろんな会にも入っていますが、一番大きく違うところは、会の中の皆様がものすごく仲が良いということ。それがやっぱりお話を聞いていると、当時皆さんが選挙活動をカ一杯やって、本当のお仲間になっている。皆さん仲が良いというのが私の強い印象です。

この会は政治や経済の話聞けるし、喋って良いし、しかもこれからも選挙があるだろうし。そういうの、もっとおおっぴらに、どんといきたいと思っています。ここだと聞けるし、喋れるし、質問もできるので。

▼内藤さん

藤原さん、阿佐さんのお話聞きますと、やっぱり深いなと思います。なんか本当になんで〜っていうくらい皆

さん一生懸命やって、この会が続いている。大変すごいってことに敬意を表します。

あと、これから先、正一さんにお願ひしたい。法律とか変わったら、役人の人呼んで講師とか、そういうことできませんでしょうか？ ご検討いただけるとありがたい。

すごい会、いろんなことをどんどんやろう！

▼臼井正一さん

入会は平成14年か15年だったというふうに記憶していますけれども。以来、ずっと一歩引いた形で月星会参加。来られれば必ず来るし、来られなければ無理をしないというスタンスの私が、よもや会長をやるとは。

土屋会長の口車に乗せられ、内藤太くんと木村幹事にお誘いをいただき、なんとか1年、私なりに精一杯努めさせていただいた。参議院選挙に出るなんて思っていなかったもので、後半ちょっと失速したのは残念ですけれど…。

月星の会員も減ってきて、飲食業界も人が集まらない、コロナも相まってというような環境があったので、申し訳なく思っています。うちの父（日出男先生）もまだ元気でおりますので、ぜひ命ある限りじゃないですけれども、続けていただきたいと思っています。

▼土屋さん

正直、鼻高々じゃないですけど、土屋家と臼井家って昔から交流があったんですよ。変な話、月星会に入らなくてもいいやと思っていた。そしたら、来てみよって言われて来てみました。

月星会の人たちに「うちの生コン買って」と言ったことはありません。商売の話をしないので。本当に仲良くやってきた。青年部があったときがすごく楽しかったです。

現役は強いです。なんの仕事に就いても。先生も議員を引退されました。じゃあこの会に魅力があるか？正直に言いますね、僕はないと思います。ちょっと固いからです。

会によって政治の話ができる・できないは、あると思います。それこそ月星会がもっと大きくなる、これだけの人数がいるんですから。これは凄い会だと思います。

ですから、もっと沸き立てて、面白いっちゃ失礼だけど、勉強にはなります。いろんなことを、もっと魅力のあることを、どんどんやったら良いと思います。

▼木村さん

正一さんに日出男先生のあとをやっていただきたい。裾野が広がれば、若い人がいっぱい入ってくる。

ということで、どんどん進めていけると考えています。ただ、いろいろなご意見がありましたよね。これを果たして言うて良いのかと思ったんですけども。あと理念検討委員会とかいろいろありますので、その中でまた揉んでいければと考えております。よろしく申し上げます。

異業種の人と話せる月星会は栄養剤

▼金田さん

この月星会が始まった当時、中小企業家同友会の会員だった人が、半分くらいいた。何が良かったかっていうと、同友会の考え方の中で、会員は会社の大小や会歴の長短に関係なく、みんな平等。そういう考え方があった。月星会もそういう考え方が浸透して、分け隔てなく言い争ったり、和気藹々とやったりできていた。それがだんだんと固くなっていった。そういうものが薄れていった。

この会を自分磨きの会だと思っている。いろんな人からいろんな話を聞いたりして、磨いていく場。一緒に活動すれば、親しくなる。例えば選挙、忘年会の準備……バカなこといっぱいやりました。この何年間か、そういうことがほとんどない。旅行に行っても、お膳立てされたところに行って、自分達はたいした努力もなく楽しむ。

一緒に仕事をするための何か、イベントみたいな、そういう機会も増やしていかなきゃならないと思います。

▼志村さん

入会して20数年、振り返ってみると前は女性部というのがありまして、しょっちゅう会っていた。会う機会が多ければ多いほど会話が弾みますよね。当然、話ができて。

異業種の人たちとこれだけ話せるのは、月星会くらいかな。自分と同じ意見の人もあるし、そうじゃない人もたくさんいて、自分で人を見ることができる。これは私にとってとても良い機会だと捉えています。

この会は、皆さん社長で、立派な社長さんなので、一人一人観察していると、それなりのものを皆さんお持ちになっている。そういう点で貴重な会で感謝しています。私にとって心の栄養剤になっています。

▼木下さん

月星会の魅力は、面倒くさいこと。面倒なことが結構ある。年齢によるところであったり、会則の問題だったり。そういうところが、凄く自分の身になっているのです。

その大本のところ、金田さんの元での朝食委員会

です。いわゆる仕事。いろんなことやった。そこでやらせてもらったことが、たぶん今日の企画の中につながる。

だから一番の魅力は、面倒くささ。それが今の自分に、一番役に立っている。

▼吉田さん

月星会の魅力として、高柳さんがさっきおっしゃっていただんですけども、ゆっくりと。桐谷さんのお話にありましたけれど、言いたいことが言えるというゆるさ。このゆるさがとっても大事だと思う。

これがキツイほうに行ってしまうと、所属しているのも疲れちゃう。全体的に高齢化しているので、ゆるくて良いと思うんですよ。それがひとつの魅力だと思います。

楽しいだけではなく、学べる会に

▼阿佐幸雄さん

役員の方々を中心に、月星を良くしていこうという熱意をもうちょっと出してほしいと思います。

総会の時に私クレームつけました。あれは熱意が足りないと思います。できましたら、他人事ではなく、変えるのは今の役員の方々。今からでも変えることはできる。行事にしる、何にしる、熱意を持ってやっていただけると会員としては楽しく学べる会ではないかな、と思います。

ただ単に楽しい会ではなくて、月星会は学べる会です。これが大事。これからも学べる会にしていけないと、新しい人を誘えない。楽しい会はいろいろあります。でも学べる会はなかなかない。役員の方皆さんで力を合わせて、月星会をもう一度、学べる会に戻してほしい。

▼藤原さん

会長、幹事長、役員の人たちがリーダーシップを発揮していわれていますけれど、みんなを巻き込むのはやっぱり会長だと思います。会長がトップでやっていかなきゃいけないと思うのです。会員が新しく、若い人に入ってもらってというのが、また活気も出ます。その元、この会の器、受け皿を作るというのをやっていかなきゃいけない。

それぞれみんな忙しいけれども、いろいろな形、方法を考え、みんなのやる気を引き出す。それが、熱量になって、会の雰囲気も良くなります。みんなで力を合わせてやれば、良くなっていく。臼井先生もまだ元気だし、みんなもそれぞれやる気があれさえすればできます。

【突撃インタビュー】

国会議員・臼井正一さんに聞いてみた!

臼井正一さんが参議院議員の選挙にトップ当選しました。これから国政についての情報、話題を私たちに伝えてくれることでしょうか。会報編集チームは会員皆さんが聞きたいであろうことをズバリ聞いてみました。

Q 国会議員として議事堂の正門を一步踏み出した感想を。

A 責任の重さを実感し、身の引き締まる思いでした。

Q ビジネスライフが大きく変わったと推測しますが…。

A 県議時代は有権者・支持者が身近なところにいらっしやったのですが、今度は都内。この違いは大きいですね。

Q 県会議員と国会議員では何がどう変わりましたか？

A 自民党は国会開会中は毎朝8時から部会といわれる勉強会を行います。自らテーマを選んで参加します。さぼっているとどんどん取り残されていくので、毎日意欲的に参加して研鑽を積んでいます。国会の本会議や委員会は突然予定が入ります。うかうか地元で予定を入れられません。

Q ご家族や友人たちの反応はいかがですか。

A 子供たちとは会う時間が減って寂しいようです。妻は、私の活動をよく手伝ってくれるようになりました。秘書は限られた人数なので、運転などを妻が担当することもあり、以前よりコミュニケーションをとれていますね。

Q 永田町までは車で行かれるのですか？



A 基本的に電車です。部会に出るときは6:51の快速で東京に向かうと7:50には党本部に着席できています。時間が計算できるので気は楽です。

Q 国会議員になられてから具体的にどういう仕事を？

A 所属の文教科学委員会や予算委員会ではまだ質疑の機会がありません。12月7日の憲法審査会で初めて意見表明を行いました。地方議会議員を務めた立場から参議院議員選挙における合区の問題点について意見表明を行いました。通常国会では文教科学委員会で発言する機会も出てくるのではないかと考えています。

Q 最後に、月星会会員の皆様に向けてメッセージを。

A 国会関係の行事や県内各地での会合など慌ただし毎日過ごしています。月星会はホームのような存在であり、最も頼りにしている団体の一つでもあります。極力行事にも参加したいとは思っていますが、選挙終わって1年間は集中的に外回りをしてお礼をしていきたいと思っています。今後ご指導をよろしくお願いたします。



秋の親睦旅行 令和4年10月5日(土)~7日(月)

岐阜の「信長まつり」を中心に2泊3日

10月5日~7日、親睦委員会の主催で親睦旅行が行われました。

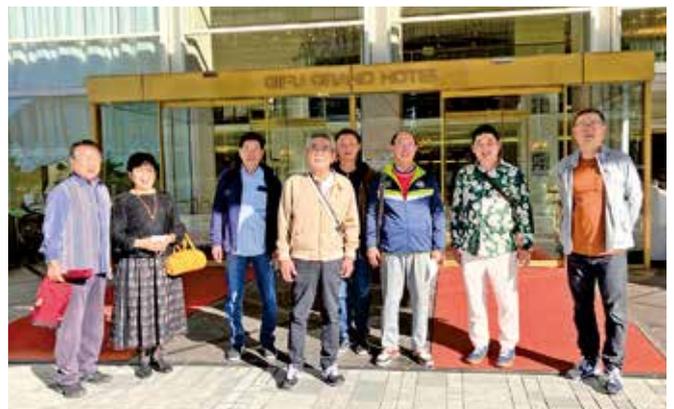
今回は「千葉市観光バス活用促進事業」がありましたので、バスの貸切費用を千葉市が半分補助してくれるという制度を利用した開催となりました。

桜木観光様のバスで初日は岐阜へ。途中、東名の集中工事などの渋滞もあり、明治村の見学時間は予定の2時間から1時間弱となってしまいました。明治の建物の雰囲気などを見て回りました。

2日目はニュースでも取り上げられた岐阜の信長まつりの開始前に伊勢へと向かいました。伊勢神宮が全国大学駅伝のゴールとなっており、バスが足止めされることもありましたが、お参りをすることができ、最終日はかな

り長いフェリー・バスの旅となりましたが、無事に帰ってこれることができました。

旅行は充実した内容でしたが、参加者数が少なかったため、春の旅行はぜひ多くの会員の方と交流を深められるようまた企画をしたいと思えます。皆様のご参加、よろしくお願致します。



例会委員会報告

8月度夕食例会 令和4年8月25日(木) 於：鯨割烹みどり

8月の卓話は、岩田代三相談役からご紹介を受けたプロレーシングドライバーの木村龍祐さんをお招きし、「22歳プロレーシングドライバーへの道」というテーマで、講話していただきました。

木村さんは、3歳の頃からレーサーを目指し、10歳の時に初めてカートに触れ、以後、様々なレース活動を続けてきました。RedBull Kart Fight 関東大会では、3年連続決勝進出したり、SL カートミーティング全国大会に2年連続出場するなど、順調に成績を伸ばし、全日本電気自動車レース18年度シリーズチャンピオン、19年度シリーズ2位という実績を評価され、現在は、86/BRZ レースに参戦しています。

我々はトップレーサーの華々しい活躍にしか目に触れませんが、それまでの道程が大変だということに改めて気づかされました。最後に岩田相談役から是非スポンサーになって欲しいという願いで締められました。



10月度夕食例会 令和4年10月27日(木) 於：鯨割烹みどり

10月の卓話は、NPO法人ほっとはあとのりゅうよしこさんと森倉明子さんに「生理の貧困を何とかしよう!」というテーマでお話をいただきました。

まずは、代表のりゅうさんより法人を立ち上げた経緯をお話いただきました。その後、森倉さんより生理の貧困といわれる現状と活動内容の紹介がありました。

なかなか男性だと生理についてあまり考えることはないのですが、それを知ることになったの



ですが、一方で貧富の格差について知るよい機会になったと思います。

残念ながら、今回は参加者が少なく、ゲストスピーカーの方に大変失礼な環境をつくってしまいました。ぜひ皆様、毎月第4木曜日が夕食例会になっています。皆さまのご参加をお待ちしております。

(以上、例会報告は小川智之委員長)

9月度夕食例会 令和4年9月22日(木) 於：鯨割烹みどり

9月の卓話は、月星会で最年少会員(のはず)の星野泰弘さんに「公的資金を使つての事業拡大」をテーマに話をしていただきました。

まず、半生を振り返っていただきました。大学在学中のバイト先のイタリアンにそのまま就職したことを皮切りに様々な飲食店を経て牛角に就職。その後、安楽亭に就職しましたが、業界2位と1位の差を痛感し、再度、牛角に就職したそうです。

そこから、パソコン教室を買い取らないかというメールを見て買い取り、独立されました。しかし、経営をしたことがないので、ネットワークを拡げるとともに、経営の勉強をしたいと思い、中島さんの紹介で月星会に入会。順調に生徒数を増やし、法人化。同時に補助金事業をスタートしました。今回は、その補助金事業についてご説明いただきました。現在、ホテル清掃事業もスタートしています。

なかなか星野さんの事業内容を知らなかったのが、いい機会になりました。



会員異動

訃報

高山尚士氏 (有) 高山測量事務所 代表取締役
令和4年8月26日 逝去 享年81歳

自宅・事務所移転

奥平 恵氏 260-0833 千葉市中央区稲荷町 3-18-11

1月～3月のスケジュール

1/11(水)	役員会 18時00分開会 鯨割烹みどり
1/28(土)	新春の集い・賀詞交歓会 17時30分受付 18時00分開会 会場 ホテルグリーンタワー幕張 4階クレセント 参加費 会員6,000円 ビジター7,000円
2/1(水)	役員会 18時00分開会 鯨割烹みどり
2/24(金)	夕食例会 18:00開会 会場:鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター3,500円
3/1(水)	役員会 18時00分開会 鯨割烹みどり
3/11(土)	第2回経営研修会 会場 ホテルグリーンタワー幕張 3階チエルシー 講師 (一社)日本ほめる達人協会 理事長 西村貴好氏 その他詳細は未定
3/23(木)	夕食例会 18:00開会 会場:鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター3,500円

編集後記

あっという間に年末の12月になりました。

ついこの前正月を迎えた感じがしていましたが、いつのまに???ってところ。過日の会員研修会に参加して変えちゃいけないところは変えず、変わらなくちゃいけないところは変えなくちゃいけないって事を学びました。来年はポーッと生かずに気を引きしめて生きたいとおもった所存です (内藤)